

主な検査・医療設備の概要

放射線関連

1. CT 検査

320 列CTと 64 列CT の 2 台のマルチディテクターCT を用いて検査を行います。

頭部領域をはじめ全身において高精細な画像の提供が可能であり、広範な診断に有用です。

2. MRI 検査

3.0T と 1.5T の 2 台の MRI 装置を用いて検査を行います。

◇頭部領域－通常検査の他、非造影の脳血管撮像（MRA）や超急性期の脳梗塞診断に有用な拡散強調画像（ディフュージョン）の撮像も行い診断に有用です。

◇整形領域－脊椎をはじめ四肢・関節等の検査を専用のコイルを用いて行います。高精細な画像の提供が可能で診断に有用です。

◇腹部領域－臓器・腫瘍の質的診断に有用であり、非浸襲的に膵胆管を描出する MRCP も行います。

◇骨盤領域－子宮筋腫・前立腺腫瘍の他、婦人科・泌尿器科領域の各種疾患に対応します。

◇乳腺領域－乳がん等腫瘍の局在・性状・進展度の診断に有用です。

3. 核医学（RI）検査

放射性同位元素（RI）を用いて検査を行います。

◇骨シンチ－悪性腫瘍の骨転移の早期診断をはじめ、関節炎・骨髄炎等骨疾患の診断に有用です。

◇甲状腺シンチ－甲状腺・副甲状腺の検査や甲状腺ヨード摂取率の測定を行います。

◇脳血流量測定－キセノンガスの吸入によるクリアランス曲線から脳血流の定量評価に有用です。その他テクネ製剤による検査も可能です。

◇肺血流シンチ－肺機能を血流面から測定する検査で、肺塞栓・肺気種・閉塞性肺疾患等の診断に有用です。

◇心筋シンチ－心筋梗塞・心筋症・虚血性心疾患等の診断に有用です。

4. 血管造影検査

頭腹部用・循環器用の 2 台の血管撮影装置を用いて検査を行います。

◇頭腹部血管造影－放射線科専門医による、頭腹部や四肢血管等あらゆる部位の血管造影検査を行います。肝動脈塞栓療法（TAE）・血栓溶解術等の血管内治療（IVR）にも対応します。

◇心血管造影検査—H23 年度に更新した循環器用装置を用いて、心臓カテーテル検査を行います。

5. X線透視（TV）検査

2 台の装置を用いて各種透視・造影検査を行います。

胃大腸透視、整形外科領域検査の他、内視鏡的逆行性胆管膵管造影法（ERCP）・食道静脈瘤硬化療法等の検査や治療を行います。

6. 乳房撮影検査

乳房 X 線撮影（マンモグラフィー）装置を用いて検査を行います。

女性診療放射線技師が検査に対応しており、またマンモグラフィー検診施設画像認定も取得しています。

7. 注意事項

CT 検査や MRI 検査において造影検査も行う場合、造影検査の説明と造影剤の同意書取得をお願いします

CT 造影剤はヨード系造影剤、MRI 造影剤はガドリニウム造影剤を使用しており、それぞれに同意書が必要となりますのでご注意ください。

内視鏡関連

1. 上部消化管電子スコープ

◇食道から十二指腸までの各疾患の早期診断を始め、バイオプシー・染色・止血・内視鏡手術等が可能です。

2. 下部消化管電子スコープ

◇大腸疾患の早期診断をはじめ、バイオプシー・染色・止血・内視鏡手術等が可能です。

3. 胆道電子スコープ

◇膵・胆道疾患の造影・診断及び胆石等の胆道系内視鏡治療を行います。

4. 気管支電子スコープ

◇肺癌やびまん性肺疾患の診断や局所治療等が可能です。